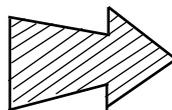


— 八王子市卓球協会のお知らせ —

役員の皆さん

- 安藤美江 ● 鈴木恵美 ● 武田哲博
- 関 満江 ● 叶松ひろみ ● 本城美智子
- 高橋こずえ ● 対間純子 ● 山田 茂
- 今井幸雄 ● 瀬沼敏郎 ● 吉野大輔
- 田中七七生

代表あいさつ



対間康久会長

後援団体として永くお世話になりました。

- 読売新聞八王子支局 & 立川支局 ● 日本卓球(株) ● (株) タマス ● 丸善スポーツ
- 卓球専門店トミオカ ● (株) オガワ ● 根岸ダルマ堂 ● 萬友亭 ● 横浜亭 ● 内田商店
- 波多野市長—黒須市長—石森市長時代の八王子市 & 教育委員会

お別れの“ごあいさつ”

私たちが、八王子市卓球協会を立ち上げ、今年で40周年を迎えます。

そんな中、皆様には、突然の話ですが、本年の3月をもちまして、本協会を解散させて頂く事になりました。40年の永きにわたり、関係各位の皆様には大変お世話になりました。

また、加盟会員の皆様や参加者の皆様には、毎回、大会を盛り上げて下さり、本当に感謝しております。42年前に同じ志を持った3名で立ち上げ、永き時間をかけ、役員を集め、

設立に至りました。当初は役員22名で、年7試合を開催しましたが、実績のない団体であり、当初は、市民体育館などは使えず、小・中学校の体育館をお借りし、大会を開催しま

した。それでも有難い事に私たちのスローガンである「選手としての競技の活性化」「八王子から東京へ、東京から日本へ」の目標を理解してくれる参加者が集まってくれ、当初から、

盛り上がった大会が開催ができました。この様に、実績をつみ上げ、2年後には、唯一の市民体育館だった富士森体育館で、年間7試合全てが開催できる様に認めてもらいました。

当時の役員は20才代～30才代と若いメンバーであり、試合の開催や運営も、大変にエネルギッシュだったと思います。しかし年7試合の開催と一口に言っても役員の皆様は、

それぞれ仕事を持っており大変に忙しい日々を送っていたはずですが、この様な役員の方々の卓球に対する情熱に、心から敬意を払って、接していました。

この時のメンバーで、八王子市卓球協会の10周年、20周年、30周年を迎えました。

その中で、特に印象に残った事は、第10回の八王子市卓球選手権大会の事です。まだ、地元の小学生だった「伊藤みどり選手」が、一般女子、ジュニア女子とも、年長の強剛選手を次々と破り優勝を飾りました。その事でも、驚きましたが、中学に入学した後は、全日本中学選手権大会のシングルスで優勝。また、高校入学後は、インターハイのシングルスでも優勝という、偉業を達成しました。地元の子供が中学、高校に入り、全国NO.1になった事は、本当に誇らしい事であり、役員として大変に刺激を受け、ますます全国へ羽ばたく若者を支援する意識が高まってきたのが、昨日の事のように、思い出されます。

また、30周年記念では、第23回八王子オープン選手権大会をエスフォルタアリーナの落成記念大会として開催しました。大会はメインアリーナで行われ、申し込みが1,300名と多くの選手が、参加され、運営も多忙を極めました。 「本当に1日で終わるのだろうか?」とこんなに心配したのは、この大会が後にも先にもNO.1でした。全ての試合が終わった後で、役員一同が、お互いに握手を繰り返し、喜び合った事を懐かしく思い出されます。この大会のサブアリーナでは、大行事である「石川佳純選手」をお呼びし、ジュニア卓球教室を開催しました。石川選手が、子供達に、やさしく、丁寧な卓球指導を行い、素晴らしい教室になりました。アリーナの観客席は超満員。体育館には1台の卓球台を囲む形の観客席も超満員。サブアリーナにも拘わらず2,000人の観客が集まり、「世界の石川佳純」人気を実感しました。嬉しかったのは、石川選手が私達に気遣いをしてくれ、「これだけの観客を集めたのは、凄いですね」と、ねぎらいの言葉を頂きました。この様な配慮に、ますます佳純ファンになった人が多かったと感じました。これも、懐かしい思い出です。

しかし、30周年が過ぎると、はじめからの役員も、定年を迎える年令となり、第2の人生を迎える為に、役員から、卒業する人も多くなり、協会運営に大変な時代となってきました。その上に、中堅になった途中からの若手の役員が、会社の異動で4名抜けるなど、運営が本当に苦しい状況になってきました。しかし幸いにも、経験豊かな女性役員が5名加わってくれたり、卓球未経験の人、数名が事務作業などを手伝ってくれ、参加者の皆さんに満足してもらえる体制が整われた状態となりました。

ここ数年は、個人戦での参加者は600名を超え、団体戦でも400名を超える大会の連続です。嬉しい事に、その半数は関東近郊から集まった、強剛の小・中学生でした。私達の目ざした「八王子から東京へ、東京から日本へ」「選手スポーツとしての競技の活性化」に、まさしく、合致した、嬉しい大会開催、運営が、ここ数年の間、続けられた事は、本当に嬉しい出来事でした。また、個人戦の年代別には、日本代表として世界選手権に3回出場した坂本憲一選手（日大OB）など、有名人が数多く出場してくれ、子供達にも、参加者にも、大きなインパクトを残してくれました。

そんな、近年の状況でしたが、役員の高齢化は否が応でも進み、体調を崩す役員が、何名か出てきてしまいました。

役員が少ない為、役員1人1人の負荷が多くかかっている現状の為、補充する事は不可能であるという結論に達しました。

これだけ多くの参加者に親しまれ、多くの支援組織に恵まれた環境を与えられて、八王子市卓球協会で、活動させて頂いた事に心より感謝し、お別れの言葉とさせていただきます。

結びに、卓球に関わる皆様のますますのご活躍を心より祈念しております。

—— 追伸 八王子市卓球協会の40年間の集大成の行事が2025年11月16日に甲の原体育館で開催された、八王子市ジュニア・カデット・ホープス卓球教室となりました。嬉しい事に、このコーチを永い間、親交を重ねて来た、アテネオリンピック日本代表監督の西村卓二氏が買って出て下さいました。八王子の子供たちは大喜びで、本当に良い集大成の記念の場となりました。有難うございました。——